

第59回ITER 機構職員募集説明会でのQ&A

1. 日時・場所

平成24年11月10日(土)～11日(日)
サイエンスアゴラ 2012 屋外展示ブース

2. 来訪者: 60名

3. 説明概要:

東京 日本科学未来館を中心に開催されたサイエンスアゴラ2012にて、太陽専用の望遠鏡を用いて太陽の核融合についての観察をおこない、核融合をより身近に感じて頂けるように展示を行った。あわせて、来訪者の方々にポスターなどの展示物やパンフレットなどの配布物を持ちてITER計画の説明およびITER機構の職員募集に関する案内を行った。(ITER計画管理グループ 大原、上野)

4. 主なQ&A

Q: ITER建設地のカダラッシュはどんなところですか？

A: イーター建設地のカダラッシュは、南仏プロバンス地方にあります。最寄りの国際空港であるマルセイユ・プロバンス空港から、車で約1 時間半程度(約70 km)離れています。イーター建設サイトは、フランス原子力庁(CEA)のカダラッシュ研究センターに隣接しています。カダラッシュの近くの町としては、南西方向に40 kmほど離れたところにエクサンプロバンス(車(高速道路経由)で約45分程度)、また北方向に20 kmほど離れたところにマノスク(車で約25分程度)があります。

Q: イーター機構職員に応募するとき、核融合に関する職務経験は必要でしょうか。核融合の物理や工学とは関係ない分野でも職員募集はありますか？また、事務職も募集があるのでしょうか。

A: ITER 機構が募集するポストは、核融合に関する研究実績がある研究者・技術者ばかりでなく、機械系、電気系の技術者、プラント建設の経験を有する技術者、国際プロジェクトの経験者など、幅広く人材を求めています。また、人事や財務、契約などの事務系の職員も募集しています。募集ポストの Job Details に記載された職務経験や専門性をご覧いただき、ご自分の職歴・専門性に合致するポストに積極的に応募して下さい。

現在募集中のポストについては、以下のページをご覧の上、ご確認下さい。

イーター機構 職員募集のページ(英語)

<http://www.iter.org/Pages/Jobs.aspx>

Q: ITER 機構では、ポスドク等の若い研究者も働いていますか？

A: ITER 機構の職員採用は、通常、実務経験を必要としますが、モナコ公国との協定に基づき設立された博士研究員の採用枠(ポスドク・フェローシップ)もありますので、これらの制度により採用された若い研究者の方々も働いています。

Q: フランス語が話せることは、必須ですか？

A: イーター機構における公用語は英語です。フランス語は必須ではありません。

ただし、職種によってはフランス政府当局や地元との折衝が必要となりますので、フランス語が必須条件となる場合もあります。この場合は、募集時の job description にその旨の記載があります。

イーター機構の職員や家族は、現地で無料のフランス語のレッスンプログラムを受講することが可能です。

以上



第 59 回 ITER 職員募集説明会(東京 お台場)会場の様子